

常盤新報

日刊 發行所 東京市本町一丁目 電話 六三〇番

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

零售 每份五分

印刷 東京市本町一丁目 電話 六三〇番

三月八日夕刊

不信任案 通過せず

政界通人 常盤論壇

總選挙の成績に徴して普通法に改正を加ふる必要ありとは誰も認めてをるやうであるから何れ研究の上相當の時期に於て改正が行はれることになるであらうが大體に於て普通第一回の總選挙として先づ可成りの成績であつたであらう、制度上の缺陷は之を改むることに必要であるが國民一般が段々と政治的に訓練せられるに從つて制度の運用上の缺陷が除去せられるので大

抵の事は左程差支なくやつて行けるやうになるのであらうと選挙の結果は吾々が豫想してゐた所とは多少の懸隔はあるけれども政友會が解散當時より三十餘名を増加したるに反し民政黨は意外の好成绩を収めたに拘らず三名内外を減じて完全地位を轉換するに至れるは以て民心の歸する處を知るに足るもので第一黨を與黨とする現内閣の下に政局は安定すべき状態になつて來たのである。（續）

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優 嚙叮速敏

所刷印日每盤常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

合着の

種々取揃へました
大勉強いたします
小供洋服は壹圓五十錢より
其他特別格安もの多数是非御出下さい

十字屋洋服店
平停車場前通り

痔疾最新内服薬
ダイサン錠
是非御試し下さい
二圓五十錢六個入

山野邊藥局
平町紺屋町(縣社通り)
味の評論 **イソキ食堂**
オの部電話四六〇番

生徒募集摘要

一、募集人員 一、入學手續

- 1 高等女學部第一學年 五十名 △志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上三月三十一日マデニ平町藤田女學校ニ提出
- 2 全 第二學年 補欠 若干名
- 3 裁縫女學部普通科 百五十名
- 4 全 高等科 若干名 △定員超過ノ際ハ在學證書提出ノ順ニ採用ス
- 5 専 修 科 三十名 △詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ
- 6 洋服裁縫科 初等科 二十名 高等科 二十名 昭和三年三月
- 7 研 究 科 二十名

福島縣平町 私立 **藤田女學校**
全 湯本町 私立 **藤田女學校**
全 江名町 私立 **藤田女學校**
湯本分校ニ提出
江名分校ニ提出
手續中江名町役場ニ提出

平町紺屋町
藤沼醫院
電話 五〇七番

内科 小兒科 花柳病科 (需應院入)

磐城共濟病院

平町 (電話六四一番)

院長 醫學博士 難波 睦
内科部長 栗野 省三
外科・皮膚泌尿科部長 木村 淳
外科部長 木村 淳
産科婦人科部長 五十嵐 雄二
藥劑士 吉本 孝平
藥局 藥劑士 賀澤 忠治
病院主事 賀澤 忠治

九日より特撰映畫週間

帝キネ特作映畫
藤間林太郎・小島洋々・歌川八重子主演
現代劇 **沈黙の人** 卷六
マキノプロダクション超特作映畫

時代劇 **合點勘次** 卷十
中根龍太郎・嵐長三郎共演
帝キネ特作映畫
市川百々之助主演

時代劇 **創痕** 卷六
期待の名篇
憧れの乙女 都賀静子主演
小唄 **消ゆる船唄**
生れながらに父さん知らず
いと母さんお洒落の狂女
次週公開
マキノ智子誕生第一回作品
時代劇 **斑蛇**
嵐三郎・杉狂児・武井龍三助演

マキノ **有聲座**
帝キネ

東京大歌舞伎

市川壽美十郎 大一座
市川海老藏 大一座

初日 狂言

- 一、江戸の花 角力の達引全通し
- 二、大江山四天童兒頼光御殿
ちよこのちよこ平使より七役早替り
- 三、山門五三の桐石川五右衛門
- 四、繪本太功記尼ヶ崎の場

當る七日午後四時開演 花火合圖致升

平劇場

美味しい滋養菓子

シユークリーム 一ツ 五錢
ドーナツ 三ツ 拾錢
カステラ饅頭 四ツ 拾錢

マツモトヤ
平町四丁目
電話二二四番

乃良瓶詰

三月七日ヨリ三日間 特價提供

銘酒 一升 金一圓
同 四合 金四十錢
同 二合 金二十錢

御注文次第直に配達いたします
平町 永山酒造店小賣部
電話二〇七番

父松次郎儀 今朝磐城中學校に出勤の處腦溢血のため醫師の手當も其いままなく八時三十分死去致し候間此段辱知各位に御通知申上候
追て葬送の儀は本月九日午後二時當町明賢寺にて佛式を以て相營み可申候
昭和三年三月六日
男 友人總代 中根 正二
唐土 齊治
親戚 一會
磐城中學校同窓會

平町側から要求した 條件を容れて

會社側漸く我を折る

伊東知事の斡旋奏効し

大瀧問題一段落

既報伊東本縣知事は大瀧問題に關し最後の斷案を下すべく六日來尼子亭に滞在平町側より提出せる要求條件を至當と認め中川本縣土木課長を介して會社側に折衝を重ねしめ平町の要求條件を容認するや否や若し容認せざるものとせば水利使用の許可を取消すの外なしと迫つた爲め會社側小田、萩原、野崎、栗原、馬目、草野中野の面々は公園のときわ亭に參集昨日來疑議を重ね夜半十二時頃に及んで漸く我々折り平町側の要求を全部容るる事に決定、其旨土木課長に返答あり契約書に調印し多年紛糾を重ねて居た大瀧發電所問題は茲に一段落を告げて平水道は其脅威より免るるを得た、因に最社側の容認せる條件左記の如くである

- 一、發電用取水口上流好間川本流に平町上水道所要水量四個の水利權を認むること
- 一、發電所設置位置を大瀧江筋中平町上水道取入室水面以上の高に變更すること
- 一、發電の爲め使用後好間川河水を自然流下に依り平町水道用水四個及大瀧江筋の所要水量十一立方尺五九を大瀧江筋中の中町上水道取入室上流に送水のこと
- 一、前項設備に要する費用は全部電氣會社の負擔とする
- 一、送水管に故障を生じ送水不能に陥りたる場合は發電を中止し全水量を本流に流下せしむること

會社側悲觀

伊藤知事注意

平町側の要求條件全部を容認するの止むなきに至つた會社側は一方ならざる憂色を募集 文藝其他投稿を募集します

成行を監視

縣社に奉告式

大瀧發電所許可反對同盟會は解散を延期し會社側が果して契約通りに事を運ぶや否やを監視する事となり此場合は代表者五六名のみが縣社子鐵倉神社々頭に奉告式を擧ぐる由

懇請に動かされて

平町を永住の地と

決意した漆畑辯護士

俺の第二の故郷だと言ふ

平町の法曹界に於ける元老として且つ石城民政派の重鎮として自他共に許す辯護士漆畑元吉氏が郷里静岡に歸るとの噂が専ら傳へられる爲め別離を惜しむ友人知己は連日の如く氏の宅へ押し掛け踏み止まれる様にと殆んど膝詰りに懇請する爲め同氏も此の熱情に動かされて平町を永住の地と定め歸郷しない事に決意したとの事で心

會社側の 水利權失効

六月末日迄に

會社側は契約條件に基き六月末日迄に設計變更書を縣當局に提出三ヶ月以内に着手すべき等にて若し右の通り運ばぬ場合は水利權が失効する

酒は不謹慎だと

握り飯を食べて

結果を待つ反對同盟會員

今曉迄の尼子亭

昨日晝間の内に何れとも決定を見るべき等であつた大瀧發電所問題、夫れが夜間迄持ち越し たり云ふので平町民の心配は一方でない、午後七時頃になると伊東知事の宿舎である尼子亭に參集する反對同盟會員の数は愈よ増して二百名を越すに至り樓上の三室をプチ抜いた大廣間から溢れた人々は勝手の爐端から女中部屋迄占領して結果如何にと固唾をのんで待ち構へる午後九時頃

縣會議員 鈴木辰三郎氏が大廣間に現れて今會見して來た知事の意嚮を傳へ「知事は土木課長に對して俺は飲みながら待つて居るから今曉中には何れとも決定の斷案を下して仕舞へと命じて大盃を重ねて居る模様から察するに最後の腹をきめ て居る事に間違ひない、だから大丈夫夫令晩はさまるよ」と御機嫌斜めならず、是れ吉報と喜ぶ同盟會員の面々は「今夜は徹夜しても結果を待たねばならぬ」との意氣込みで夜半の十二時を過ぎて誰一人歸る者がなく大森醫學士と星眼科醫が盛んに烏鸛を戦すれば

岡眼八目

の取巻き連も賑々しく一方では力自



草花の種子の播き方(上)

草花種子は春播きでも一番よいのは彼岸前後とされて居りますが次に記させよう

其事を

ほのめかしたに過ぎなかつたんだが世間の噂が高くなり友人等も心配してくるので元々俺の第二の故郷として愛着を感じて居た平町の事でもあるから更らに御興をすえて永住する事に覺悟した様な次第だ、だから君、改め

仙の台

爲聴

意用

真空管の数は多い程といつたが四球、五球と数が多くなる程組織が複雑になると共に感應が非常にデリケート

トになつて素人の手にはむづかしくなる、素人が作るセットなら四球位まで、それ以上は専門家にゆだねた方がいゝ、真空管も舶來がいゝと思はれたが今は國産で立派に出來る真空管の壽命は一球なら半年、二球なら四ヶ月は持つ

井ラメント端子電圧を一五ヴォルトとして一分間光らせるのである。それから次に井ラメント電圧を七、五ヴォルトとして一分間點火したまゝ放置しておくのである、一九九型なら一〇ヴォルトのフキラメント電圧三十秒間光らしフキラメント電圧を四五ヴォルトにして一分間點火のまゝ放置するこれは素人でも出来るが放送局支部へ持つて行けば簡単に回復してくれらるから新しいのを買つて一個二圓もする真空管をむだに捨てることはない

慢の腕相撲が始る仕末火鉢を圍んで例の第三小學校敷地の事佐藤長造君が口角泡を飛ばし六七丁目附近が好適地とばかり誰が何んと云つても他事は耳に入れない其處へ誰れかの寄附で

た夜食の 握り飯が 澤庵と共に擔ひ込まれる「酒、酒！」と叫ぶ者もあつたが夫れは此重大時に際して不謹慎であらうとの事に一も二もなく否決され、先づ腹をこしらへて縣當局に對する會社側の返答がノイカイエスか

頗る興味 を唆られて待つて居る會社側の使者として栗原、馬目、萩原の三君が土木課長を訪ねて來たこの報を誰れかが齎せば待つ間程なく伏見町長を先登に佐藤助役や香野水道夫れから井上前縣議、青沼町議外水道委員等がドヤドヤと這入つて來て大森氏から會社側が平町の要求條件 全部を容れた旨の報告あり嵐の様に拍手が起つた時既に本日の午前一時五十分